

## 第7回 宇部市常盤通りウォークブル推進協議会 ～会議録～

日時	令和5年6月13日（火）10:00～11:00	
場所	ポスティビルド3階 研修室	
出席者	協議会	市長（会長）、岡松委員、宋委員、宮崎委員、熊谷委員、上田委員（山田委員の代理）、大久保委員（北村委員の代理）、野嶋委員、中野委員 ※榊原委員、江嶋委員欠席
	事務局（国）	国土交通省 中国地方整備局 山口河川国道事務所 道路管理第一課：原課長、中井建設専門官、溝口占用係長
	事務局（市）	都市政策部：磯中部長、福田次長、渡辺次長 中心市街地活性化推進課：野村課長、上田副課長、安部係長、野崎、光木

### 議事概要

#### 議題1「令和5年度 社会実験の概要（案）について」

審議の結果、社会実験に関する協議会の所掌事務を会長である市長に一任することとして決定した。

特に意見はなし。

#### 議題2「実施設計の状況報告について」

審議の結果、今回の案で進めることとした。

意見等については、以下のとおりである。

- ・人工芝を使用するという考え方が公園的な街並みを作っていくというコンセプトに合うかどうか検討する必要があると思う。人工芝が管理しやすいことは間違いなくあるが、常盤通りは宇部市の緑化運動の歴史があり、市民の誇り、色々な事業が動いている中でまちの顔となる。人工芝で正しいのか、議論する必要があると思う。ヒストリア宇部前は天然芝で考えると説明があったが、実際に図面を見てみるとそこまで面積がない。子どもが遊んだりするところは仕方なく人工芝にすることが必要かもしれないが、それ以外の場所については、通行性も工夫すれば問題なく、景観も楽しめるようになるのではないかと。景観で天然芝が△で人工芝が○も疑問がある。冬に枯れているのも景観的に良い。コストも中間組織が入って稼ぎながら管理をしていく仕組み、今より管理がしやすい仕組みや考え方も出来るのではないかと。管理費を抑える考え方もあると思う。ウォークブルが地域の活性化やにぎわいを作っていく。海外ではウォークブルは環境に配慮したまちをつくっていくというSDGs的な考え方がある。人工と環境配慮があまりにも違うのでは。社会実験の中でそのあたりも考えながら検討してほしい。
  - ・人工芝を使用予定で例外的に天然芝を一部使用と読み取れるが、緑は色としての緑を指している訳ではないと思うため、併用は考えられるが、人工芝が前に出すぎないような表現の方が良いと感じた。
- 【事務局】天然芝の良さもあることは事務局も認識している。一方で中間組織が今後立ち上

がってどこまで管理出来るかが今後課題として挙がってくると思う。南池袋公園は年中緑の天然芝である。ティフトンと呼ばれる西洋芝で踏んでも強い芝を使用しており維持管理コストがかかっている。ティフトンは冬には枯れるので秋ごろに種をまいて冬に生える芝も併用している。常盤通りで年中緑にする必要があるかというところも議論の一つになると思うため、社会実験を行いながら協議したい。

- ・芝にこだわる必要はないと思う。タピアンという可愛い花が咲いて広がっていくものもある。管理が不要で冬場もあまり枯れずに、今の時期は花が綺麗である。そういった植物も研究をして使ったらどうか。
- ・同じようなことを考えていた。芝生の概念を広げて雑草を混植して管理を楽にする。アメリカなどでは歩道に雑草を混植して緑が住宅地と繋がっている。中津瀬神社前や西京銀行前がすべて人工芝になると、緑化という表現は出来ない。常盤通りが宇部市の緑化の原点として考えると、全面人工芝になれば、宇部市の緑化の原点がそういうところかと言われかねない。ウォーカブルが色あせる可能性がある。具体的にどれくらいの面積を人工芝にするのか。実施設計がどの程度進んでいるのか、どの時期まで修正が可能か示してもらえると、社会実験とのすり合わせも出来、具体的に検討できると思う。彫刻は今回どのように、どの場所に設置されるか。市役所と旧井筒屋のランドスケープの連続性も検討いただきたい。  
→【会長】新庁舎広場については天然芝で進めている。ウォーカブルの基本的な整備コンセプトは「緑と花と彫刻で繋がる庭のようなまちづくり」からスタートしている。その意味では、委員の皆さんからいただいたご意見はしっかりと受け止めていきたい。今後、社会実験も含めて、機能的にここは人工芝が良いという場所も出てくると思うため、そこをどのように区別していくのか事務局で検討していく。
- ・中津瀬神社の横の市道の街路樹は「ホワイトラブ」というあまり横に広がらないハナミズキを市が整備し、この品種が非常に良い。この街路樹を常盤通りにも展開していくと良いと思うが、ケヤキだけか。  
→【事務局】中津瀬神社の横の市道はイベント等が行いやすいように出来るだけすっきりしたホワイトラブを選定した。常盤通りについても、出来るだけすっきりした空間とするコンセプトではあるが、歩道の樹木を伐採し、ケヤキで統一した並木景観を創出することとしている。ホワイトラブは、市役所東側の市道栄町線で植える予定としている。  
→【会長】植物に関しては、花壇を増やして欲しいなど色々な意見がある。ある程度方向性を整えて案を協議会に示させていただきたい。
- ・山陽小野田市で芝を刈るルンバのような機械がある。国道の大きな照明灯と歩道の照明灯のバランスを景観的に考えてもらえると絵として綺麗になると思う。  
→【事務局】芝生の自動運転については、山陽小野田市役所に行く国道の中央分離帯で動いていた記憶がある。人が寄り付かないところや柵があるところは、実際に利用されているが、常盤通りのように人が歩くところで適用できるかは課題であるが、そういったところは考えていかなければならないと思う。道路照明灯については、今回は改修する計画は無い。道路照明灯の高さは車道を広範囲に照らすため高く設定されているが、歩道照明灯の高さは光があまり拡散しないように5~6m位の高さが適切と考えている。歩道照明の明るさや色などで、景観が演出できると考えている。
- ・芝刈りにときわ動物園のヤギを使うなどの発想もあって良いと思う。ある時期に広いエリアに柵を設置し、草刈中注意など表示することも可能で、話題にもなると思う。

- 【会長】面白いアイデアだと思う。SDGsの観点からするとそのような仕組み作りも必要である。ヤギを見にまちに出てくる人もいると思う。宮大路動物園が過去この近辺にあったので、ソフトのひとつとして考えていくのも面白い。先般市民から芝生の整備により猫の糞に困っているとの話もあったため、そのあたりも考慮しなければならない。
- ・専門で入っているランドスケープデザインの業者が設計していると思う。既存の照明灯と新設照明灯のバランスなどきちんと提示すべきと思う。実施設計のスケジュール、いつまでに意見が反映できるか教えて欲しい。
- 【事務局】市役所前、ヒストリア宇部前、旧井筒屋前の実施設計については7月中には固めていきたいと考えている。その他は年度内に固めていきたいと考えている。市役所前については、今年度の下半期から工事に着手したいと考えているが、市役所前については芝の計画は無い。
- ・あまり時間が無いので、設計者自ら分かり易く説明してもらえるとありがたい。
- 【事務局】一度協議会として説明を行う。

### 議題3「市役所周辺地区駐車場基本方針（案）について」

審議の結果、今回の案で進めることとした。

意見等については、以下のとおりである。

- ・時間貸し駐車場について、現状では平日の稼働率は高いものの休日は低いことが確認できた。
- ・今後の需要予測については、賑わい交流施設の内容及びその波及効果により大きく変わるものとする。
- ・本来は需要推計の上、車、公共交通、徒歩などの移動手段の分担を考えるのが良いと思うが、データが限定的な現時点での検討としては妥当と考える。
- ・今後整備が予定される市役所の平面駐車場、にぎわい交流拠点の駐車場等、さらに金融機関の駐車場の無料開放があれば、必要最小限の駐車スペースの量的確保は可能なものとする。
- ・質的な面で考えると、皆さんが「駐車場が足りない」と感じるのは、既存のやや離れた時間貸し駐車場から目的地までのアクセスルートに楽しさや賑わいが欠けることも理由のように思う。ショッピングモールでも実際には敷地内で駐車場から目的の店舗まで結構な距離を歩くこともあるが、途中にも様々な店舗や施設があることなどから、そこまで苦には感じないのではないかと思う。そのため、駐車場から常盤通りまでのアクセスルートを含めた面的活性化や演出が重要と考える。
- ・子育て世代（ベビーカー等）やご高齢、障害を持つ方のことを考えると、そのアクセスルート上の段差解消も重要と思う。
- ・必要であれば、駐車場からの移動をサポートする交通機関があってもよいと思う。
- ・宇部市が支援するコミュニティタクシー路線で、利用者に商業施設の商品券を還元する仕組みがある。中心市街地でもモビリティ・マネジメントとしてそのような取り組みができるとよいと思う。
- ・寿町の駐車場は常盤通りに来る人の頭の中にはない。全体的に見ると余っているように見えるが、副道の稼働率は高い。
- ・考え方として、目的があれば駐車場が無くても人は来る。駐車場が無いから人が来ないとは考

えていない。人々が求めている催しなどを沢山行うことで自然と人を呼び、どこかに車を停める、車が無理なら公共交通を利用する思考に変わっていくと思う。ウォークブルを前提にしている以上は歩いて来てくださいと物事を進めた方が良くと思う。

→【会長】にぎわい交流拠点が出来て波及効果が出ると人は集まってくると思う。駐車場が足りないのであれば公共交通もあるが、一つのポイントとして駐車場はあるので、今回の案を市民の皆様へのPRに努めていきたい。

- 稼働率を見ると駐車場は足りていると思う。ここで面白さを生み出していくことが課題である。今回良かったと思うのが、周辺の金融機関の駐車場を実験中に無料開放していただいたことである。これからも継続して検討してほしい。直径500mの円を描いているが、駐車場にお金を払う場合の距離感、駐車すれば商店街の買い物が安くなるなど長期的に連携する仕組みを考えていくと良いと思う。にぎわい交流拠点の整備により寿町の駐車場との間にある琴芝街区公園が大きなポイントになると思う。間の繋がりが大事である。

→【会長】宇部市でデジタルを活用した地域ポイントの検討を進めており、その中にこの仕組みを入れるのも良いと思う。例えば商店街で買い物をすれば、ポイントが付与され駐車場代がキャッシュバックされるような仕組み。検討を進めていきたい。